

## ジュニア駅伝で串本町チーム8位入賞！

3月3日、第22回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会に出場した串本町チームが町長室を訪れ、大会結果を報告しました。

今年2月12日に和歌山市で開催された大会には、代表チームとオープンチームの2チームが出場。代表

チームは1時間14分09秒で見事8位に入賞し、オープンチームは1時間21分33秒で完走しました。また、代表チームで8区を走った久保凛さん（潮岬中3年）が自身の記録を3秒更新する区間新記録で区間賞を受賞したほか、久保凛さん、堀美奈希さん（串本中3年）が、5年連続出場の表彰を受けました。

チームキャプテンの山田涼生さん（古座中3年）は「10月から練習を始め、みんな一生懸命に取り組み、たくさんの人に支えられて目標であった8位入賞を達成することができました」と大会を振り返り、田嶋町長は「成績も素晴らしいが、互いに励まし合って一つの目標に向かっていく、共に努力する連帯感を作り上げることもとても大事」と選手を称賛。同大会串本町実行委員会の大岡征也会長は、「荣誉ある8位。来年は7位以内を目指して頑張ってもらいたい」と選手を鼓舞し、来年への期待を述べました。



## 田原小学校がふるさとわかやま学習大賞受賞！

3月13日、田原小学校4・5年生の皆さんが来庁し、令和4年度「ふるさとわかやま学習大賞」を受賞したことを田嶋町長に報告しました。

この賞は、優れたふるさと学習の取り組みを表彰するもので、今年は35校（114点）が応募。田原小学校を含む6点が大賞に選ばれました。

田原小学校は、ロケット射場が串本にできた理由や、ロケットや衛星、それに関する仕事について調べたこと、地域の人たちの期待の声などをまとめた作品を製作。模造紙ポスターの部で、栄えある大賞を受賞しました。

児童の皆さんは「宇宙やロケットのことを知ることができた。串本町や田原の人に伝えて、皆にもっと興味を持ってもらいたい」「山や海が綺麗な場所としてしか思っていなかったが、新たに『宇宙』が加わって、田原や串本町の可能性が広がるのが分かり、とても嬉しい」と調べ学習を振り返りました。田嶋町長は「素晴らしい作品。田原の方の協力によって射場ができたこともきちんと伝えてくれていて大変嬉しい。町としても、皆さんのように子どもたちが宇宙やロケットを身近に感じて、刺激を受けてくれることを期待しています」と思いを伝えました。

